

## 【会議録（要点記録）】

（午後7時00分 開会）

### 1 会長あいさつ

（杉原会長）

### 2 施設紹介

○事務局

会議の会場とした「大野市地域子育て支援センター」を事務局から説明

### 3 議事

○杉原会長

（1）市内民間保育所の認定こども園への移行についてを議題とする。事務局の説明をお願いする。

○事務局

社会福祉法人いとよ保育園が現在のいとよ保育園を、令和6年度から認定こども園に移行したく、社会福祉法人が県知事に対し、認可の申請を行う。

この認可申請に関連し、大野市からは、県知事に対して認定こども園の認可に係る意見書を提出することになるので、本日の会議において、市内の教育・保育施設の需要と供給、市の計画との整合性をご説明し、認定こども園移行に対する意見を求める。

詳細については、担当より説明させていただく。

認定こども園は、保育所と幼稚園のいいところを生かした施設となっている。

保育所は、従来、保育を必要とする子しか預かることはできなかったが、保護者の就労の有無にかかわらず、すべての子どもが利用できるようになる。

教育と保育の両方、子育てに関する相談、また親子の集いの場を提供することで地域の

すべての子育て家庭を対象にした子育て支援の機能を備えている。

認定区分、1号が教育となっており幼稚園部分となる。2号と3号が保育の部分になる。

認定こども園になると、1号から3号の子どもすべてが入園の対象になる。

いとよ保育園が認定こども園への移行することで、市内の民間保育所はなくなるが、市内のどの民間事業所でも教育ニーズに対応できる体制がとれることになった。

市内全体における教育保育の定員は、1号認定が3名、3号認定は10名増加する。

少子化が進んでいる中、市全体の定員が増加するが、他の民間事業所の方で定員の引き下げを検討されているところもあるので、定員10名の余裕が出た分、市の教育保育のニーズの実情と確保方策を照らし合わせた上で、他の事業所の定員削減の要望にもより対応しやすくなると思われる。

大野市子ども・子育て支援事業計画に定める量の見込みと確保方策を考慮しても、待機児童が発生する心配はない。

よって、いとよ保育園が来年度、認定こども園に移行することによる、市内の教育保育の提供体制の影響はないと言え、むしろ受け入れる子供の幅や分野が広がり、地域の子育て支援の場も増える形になる。

○杉原会長

定員を下げたいという事業所があるとのことだが、その理由は。

○事務局

児童数の減少や、今の定員数を維持させようと思っても、職員が雇用できないことなどの事情があるためだと考えている。

○杉原会長

反対意見はないと判断する。この件については特に問題なしということではどうか。

（反対なし）

○杉原会長

(2) 子ども・子育て関連事業に関する意見聴取（グループディスカッション）の進め方について、事務局の説明をお願いします。

○事務局

今回のグループディスカッションは、第1回目の会議で話題になった「子育て力の向上」をテーマにさせていただき、子ども・子育て会議として継続した議論を行いたい。最初に、1回目の会議における意見をおさらいさせていただく。

委員から、子育て力の向上について事務局から提案があったが、子育て力って何なのか。多分、今の保護者の方はどうやったら子育て力がつくのかということがまず、分からないと思う。との意見があった。

そこで、「子育て力ってなに？」をキーワードにした。

また、ほかの委員から、子どもは保護者の接し方の鏡。環境や親子関係など、いろいろな要因がある。そこを丁寧に見ていった時にやるべきことが見つかる。との意見があり。事務局からは、気掛かりな子が増えているのは、親と子の関わり方（子育て力）が関係するのではないかと考えていると発言した。

そこで、親と子の関わり方をどうするといひ？をキーワードにした。

また、青井アドバイザーからは、当事者はあくまでも「今の」子どもであり保護者である。我々の考える理想に近づけるのではなく、「今の」親子は、昔と比べて何が変わっていて何が変わっていないのか。その背景には何があるのかなどを整理した上で、「今の」親子に何を求めていくのか、何が求められているのか、何を变えずに何を变えていくのかを考えていくとよいとアドバイスを頂いた。

そこで、「昔の保護者」と「今の保護者」

は何が変わってきたの？

「昔の保護者」と「今の保護者」で変わっていないことは？

「今の保護者」は何を求めているの？

「今の保護者」に何を求めるの？（今の保護者にどうなってほしいの？）をキーワードにした。

従って、今回のグループディスカッションは、委員の皆さんから、これらキーワードに対する意見を多く出し合ってもらいたいと思う。

相反する意見もあると思うが、それは市民目線の意見と受け止め、今後、市として取り組むあらゆる子ども・子育て支援の方向性を決める際の参考とさせていただく。

### 【グループディスカッション】

※結果は別紙シートのとおり

○青井アドバイザー

今も昔も子育てについてすごく大事なものは変わってない気がする。

ただ、過程が変わってきているので、そこをどう捉えていくかを行政として考えなければならぬ。

「子育て力って何」というの話題になったときに、おそらく両グループも感じられているが、「子育て力」という言葉を簡単に使ってきていて、今の親も昔の親も一緒だと考えがちだが、何をもちって今の親と言っているのか、何をもちって昔だと言っているのかってところから、少し整理をしていけるといいと思う。

また、「子育て力」というキーワードは聞く側によって評価が変わってきたり、意味づけが変わってくる言葉であり、すごく危険性が高い。専門職同士の中では気をつけて使っ

ていかないと、その危険性から保護者にストレスを与えるようなことにもなると思う。

一時期、文科省の方では「家庭教育力」という言葉を使っているが、私は家庭教育、教育力って何をもって何をしようとしてるのか。よくわからない言葉を使ってでも、単語にすると結局そうになってしまう。

先生方をご存知だと思うが、指針の中でも、昔は養育力の向上って言われていたが、今は言わなくなった。養育力って一つの単語で表わしてしまうと、この子育て力と一緒に、何が養育力なのかって分からなくなり、分からないものをどうやって支援していけばいいかなんて絶対に分からない。

分からない言葉を安易に使わない方がいいということをお皆さんが捉えていることを確認できたと思う。

グループディスカッションで次のステップに繋がる中身が出てきたので、それでいいと思うが、傾向とか、軸を可視化するというか、整理をしていってほしい。

#### 4 会長あいさつ

(杉原会長)

(午後8時45分 閉会)

## ①「昔の親」と「今の親」は何が変わってきたの？

社会の仕組みが変わった

多様性

放任だった

一方的、答えがひとつだった

子どもは母、やばい時は父

子ども中心にしない

遊び場に行かないと子どもがいない

みんなで暮らしていて、相談できた

物が多い

親と子が近い

正解がない

一緒にご飯食べない

たくさん習い事をさせる  
(親のエゴという噂)

親も認めてほしい

問題を抱え込みやすい

情報をネットから得る

## ②「昔の親」と「今の親」で何が変わっていないの？

子を思う気持ち

自分の時間

## ③「今の親」は何を求めているの？

元気に育ってほしいという気持ち

子ファーストでなく、親ファースト

自分の時間

習い事（英語）

伸び伸びと育てたい

外遊びをしてほしい

不審者・事故が心配  
不安もある

安全に！

## ④子育て力ってなに？

いかに子を想うか

あれこれ指示せず見守れるか

難しい！求められるものが多い

この「ワード」が怖い何かスキルがないと子育てできないの？ という不安がある

= 経済力

自信をつけさせてあげて褒めること

自然と備わっていると思っているもの

## ⑤親と子の関わり方をどうするといい？

ずっと仲良く

年代に応じた距離感

子育ては止められないから辛い方がいい

子のいいなりにならないという親のスタンス

世の中に応じて関わる力

## ⑥「今の親」に何を求めるの？ (今の親にどうなってほしいの?)

忙しいけど、子と共に過ごす時間を作ってほしい（隙間時間の活用）

子どもに振り回されないこと と 子どもを大切に想う気持ちのバランスを保ってほしい

年代に応じた対応力

子を自立させる力

①「昔の親」と「今の親」は何が変わってきたの？

病院や飲食店など静かにしなければいけない場所では絵本を読んだり、手遊びをしたり、静かにさせられた

周りの協力が得られ、まだ、心にゆとりがあった。（気持ちの余裕があった）

他者との比較を恐れている？  
もっと自己肯定感をUPが必要？

昔は散歩しても近所の声掛けあったが、今はない。できない。

サービスのお陰で子と向き合う時間増加

④子育てかってなに？

自分の親から引き継がれるものでは？

関わり方の上手さは引き継がれる？

経験していくもの  
※最初からは身につけていない。一段、一段階段を上がるのと同じ

最初の子は神経質になりがち

親だけで行うものでない

でも、他者の関わり方が難しい

地域の連携が重要

脱コロナ

子を説得、納得させられない

仕事が忙しく、心にゆとりがない（気持ちの余裕がない）

スマホに頼っている

子を泣かせたくない我慢させない

コミュニケーション力が低下？

親としての威厳がなくなった？

学校行事への参加は多い

子とふたりで煮詰まり子育て支援センターへ通う人の集う場所を求めている？

②「昔の親」と「今の親」で何が変わっていないの？

親であるという事実

健やかに育ててほしいという願い

表現が違うだけで、困り感は今も昔も同じでは？

気持ち（自分）に余裕があると

実は悩んでいる？抱え込んでいる？足を運べない人もいるのでは？

⑤親と子の関わり方をどうするといい？

子の目線に立てる頭ごなしでなく、理由を聞く

これくらいは分かるやろう！という決めつけは駄目×丁寧に！

時間の長さでなく、密度をUP

メリハリが必要では？

心に余裕があればできる

③「今の親」は何を求めているの？

いじめもなく、安心して健全な子の成長

専門家から「それでいいよ」と認めてもらいたいのでは？

親として満たされること

子が褒められると親もうれしい

子育てするもの同士、共感したい

親も自分の時間

満たされると親も自己肯定感がUPする

ネットの世界ではできない。だからみんなが集まる

⑥「今の親」に何を求めるの？（今の親にどうなってほしいの？）

自信を持って子育てしてもらいたい

孤立しないでほしい、させてはいけない

子と認められる親になってもらいたい

大野市子ども・子育て会議（第2回）グループディスカッション

Aグループ

子育て力の向上について（グループディスカッション）

①「昔の親」と「今の親」は何が変わってきたの？

- 「昔の親」
  - 専業主婦
  - 放ったらかし
  - 一方的
  - 子どもに厳し
  - やばい、呼ば
- 「今の親」
  - 多様な
  - 親と子が近い
  - 親と子が近い
  - 親子関係

②「昔の親」と「今の親」で何が変わっていないの？

- 子どもを思う
- 自分の時間

③「今の親」は何を求めているの？

- 安全に育つ
- 外出遊べる場所
- 不安がある
- 自分の時間
- 自分アース

④子育てかってなに？

- いかに子を思うか
- あれこれ指図せず見守れるか
- 難しい、求めるものが多
- キーワードが怖い、何がスナレが正しいとできないの？という不安
- 経済力
- 自信をツクリせてあげてほめること
- 自然と変わっていると思ってるもの

⑤親と子の関わり方をどうするといふ？

- 辛くない
- 世代に合った
- 距離感
- いいカドに
- 世代の間に

⑥「今の親」に何を求めるの？（今の親にどうなってほしいの？）

- 忙しい
- 子どもに振り回される
- 子どもを大切に思う気持ち
- 年代に合った対応力
- 子どもを自立させる力

Bグループ

子育て力の向上について（グループディスカッション）

①「昔の親」と「今の親」は何が変わってきたの？

- 昔の親
  - 専業主婦
  - 放ったらかし
  - 子どもに厳し
- 今の親
  - 多様な
  - 親子関係

②「昔の親」と「今の親」で何が変わっていないの？

- 健康やかに育ってほしいという願い
- 困り感は一筋では？

③「今の親」は何を求めているの？

- いじめもなく
- 安全、健全な成長
- 親が満たされる
- 親も自己肯定感UP
- 親に自分の時間と欲しい
- 専用家から「そいでいいよ」と認めてほしいのでは？
- 子がほめられると嬉しい！
- 共感したい

④子育てかってなに？

- 自分の親から引き継がれるものは？
- 関わりがうまく
- 経験してのもの
- 最初の子は神経質になる
- 親だけで行くとはい
- でも他者の関わり方が難しい
- 地域の連携が重要

⑤親と子の関わり方をどうするといふ？

- 子の目標に立って
- 豆ごみでなく（理由があるはず）
- 分かるからう！！（決めつけはダメ）
- ていねいに！！
- 時間の長さでなく
- メリハリが必要では？

⑥「今の親」に何を求めるの？（今の親にどうなってほしいの？）

- 自信を持った子育て
- 自立させてほしくない（ははは）
- 子を認められ親に愛してほしい